

広報NOSAI福井

ほなみ

2018.1

第53号

元旦

～穂波～
豊作の美しい景色
が 毎年続きます
ように



CONTENTS

- ◆ 新年のあいさつ
- ◆ 農業共済功績者表彰
- ◆ 収入保険制度の解説
- ◆ 台風21号 被害状況
- ◆ 書写全国コンクール
- ◆ 農業見聞 坂井市 川合久利子さん



備えの種を
まこう。

表紙：「初春に思いを込めて」



組合長理事
千田 千代和

農業経営に沿った提案型推進を

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆さまには、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。旧年中は格別のご高配を賜り誠にありがとうございました。昨年を振り返りますと、日本列島を縦断した超大型台風21号により、農作物関係に大きな被害をもたらしました。本県においても、収穫間近に控えたソバや園芸施設が大きな被害を受けました。

さて、農業災害補償法は平成30年4月から「農業保険法」に改称され、品目を限定せず価格低下を含めた収入減少を補填する「収入保険」と、「農業共済」の両事業を担うこととなります。農業者一人一人が自らの経営展開に応じた最適な制度を選択できるよう組織を挙げて取り組んでまいります。また、収入保険は青色申告が加入の要件となることからの、市町やJA、農業委員会のほか農業関連団体と連携強化を図り、普及・啓蒙に努めてまいります。

今後とも皆さまには、より一層のご支援を賜りますとともに、本年は災害がなく皆さまにとっても幸多き年になりますよう、心からご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。



損害評価会 会長
小林 留次郎

新たなセーフティネットに期待

新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。損害評価会委員ならびに損害評価員の皆さま方には、平素より農作物共済をはじめ、畑作物共済等の損害評価について多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は、度重なる災害が発生し、NOSAIの役割が益々重要になっていと感じております。

さて、新たに始まる「収入保険」は、品目の枠にとらわれず、農業者ごとの農業収入全体を対象としております。本県農業は、水稲作に偏っておりますが、園芸作物の導入・規模拡大など不安なく新たな挑戦ができるチャンスではないかと期待をしております。一方、私どもが行う損害評価については、時代の変化を踏まえ、引受方式の変化など新たな対応が求められる中ではありますが、農業共済制度の適正な運営を握る諮問機関という使命の

もと、損害評価会一丸となって、これからも共済金の早期支払いにむけ取り組んでいく所存です。旧来に増して損害評価会委員の皆さまならびに損害評価員の皆さま方のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。

農業災害補償制度70周年記念大会 開催

農業者の経営安定へ結集

平成29年11月21日東京都において、全国のNOSAI役員が参集し、70周年記念大会が開催されました。

大会では、70年間培ってきた農家からの信頼を礎に、全ての農家に「備えあれば憂いなし」の農業生産体制を構築することなどを確認しました。

特に農業経営発展へのチャレンジを支援する収入保険は、早期に10万経営体の加入を達成するとして特別決議を採択しました。



▲主催者あいさつをする NOSAI 全国高橋会長



全国から約1000人の役職員が参集



組合長理事	千田 千代和	専務理事	森下 満行	常務理事	坂田 和洋	理事	東村 新一	理事	山岸 正裕	理事	牧野 百男	理事	橋本 達也	理事	川野 順万	理事	山口 治太郎	理事	山長 泰子	理事	末永 慶一	理事	田中 英輔	理事	田中 廣	代表理事	奈良 俊幸	監事	河上 隆信	監事	小林 留次郎	損害評価会長	伊藤 克己	損害評価会 会長代行	南部 文秀	損害評価会 会長代行	奥田 秀雄	農作物共済 部長	吉江 眞雄	畑作物共済 部長	小嶋 卓敏	果樹共済 部長	小林 勇夫	家畜共済 部長	前田 重信	園芸施設共済 部長	栗田 信夫	任意共済 会長	嶋田 明良
-------	--------	------	-------	------	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	--------	----	-------	----	-------	----	-------	----	------	------	-------	----	-------	----	--------	--------	-------	------------	-------	------------	-------	----------	-------	----------	-------	---------	-------	---------	-------	-----------	-------	---------	-------

今年もよろしく
お願い申し上げます





「ノーサイくん」ゆるキャラ® グランプリ出場

NOSAI団体のマスコット「ノーサイくん」が、キャラクターの日本一を決める「ゆるキャラ®グランプリ2017」にエントリーし「企業・その他ゆるキャラ部門」で堂々の9位入賞を果しました。



農業災害補償制度 70周年記念誌の製作

組合では、平成19年以降の主な10年間の取り組みや記録を収録した記念誌を製作します。
【内容】特定組合発足までの変遷、主な出来事（年表）、農業・農村・農政の動向、収入保険の導入、農業共済制度の見直し、福井県の農業、共済事業の動向、地域支援事業の取り組みなど



制度70周年記念事業の紹介

NOSAI団体で、これまで果たしてきた役割やセーフティネットとしての重要性をあらためて認識するとともに、農業共済制度をより多くの方に理解していただくことを目的として取り組んでいる、「農業災害補償制度70周年記念事業」を紹介します。



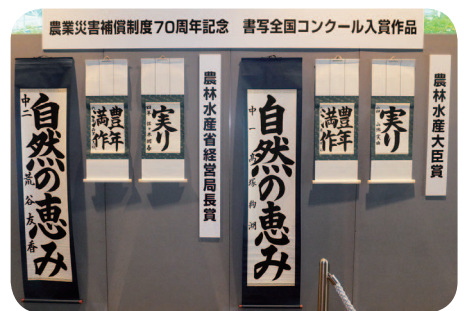
ふるさと見守り活動

防犯活動を通じて、地域社会の安全確保と住みよい環境づくりに貢献しようと、平成29年9月1日から全国統一的に展開しています。
本県でも、公用車全車に防犯ステッカーを貼り、安全運転を心がけるとともに、地域においての「防犯の眼」として貢献できるように努めています。



書写全国コンクール

小・中学生を対象に、農業・環境保全の大切さ、食育についての関心・理解を深めてもらうため、「書写全国コンクール」（後援 農林水産省、文部科学省、農業共済新聞）が実施されました。
本県選出の第3部・福井県立高志中学校2年・荒谷友香さんが農林水産省経営局長賞に選ばれました。
※本県入賞者はP.16・17で紹介



表彰

平成29年11月21日に、農業災害補償制度施行70周年にあたり、共済事業の発展に貢献された方の全国表彰が行われ、本県からは13名の方が受賞されました。

なお、本表彰の伝達式が11月29日に行われました。おめでとうございます。

農業災害補償制度施行70周年記念 経営局長表彰



損害評価会委員
奥田 秀雄 氏(敦賀市)



損害評価会委員
北島 市郎 氏(あわら市)



損害評価会委員
栗田 信夫 氏(鯖江市)



損害評価会委員
戸田 久和 氏(福井市)



損害評価会委員
青山 武男 氏(越前町)



損害評価会委員
嶋田 明良 氏(坂井市)



損害評価会委員
小嶋 卓敏 氏(越前市)



損害評価会委員
南出 俊昭 氏(坂井市)



損害評価会委員
吉江 眞雄 氏(あわら市)



損害評価会委員
南部 文秀 氏(勝山市)



損害評価員
南 栄之進 氏(永平寺町)



損害評価員
渡辺 東洋士 氏(越前市)



損害評価員
青木 幹雄 氏(鯖江市)

農業災害補償制度施行70周年記念 永年勤続NOSA I基礎組織関係者表彰

平成29年度 農業共済功績者表彰

収入保険に関する県別説明会始まる 周知徹底に向け農林水産省が全国開催

平成31年1月から導入される収入保険の理解促進に向け、農林水産省は11月14日から、農業者を中心に制度の仕組みを解説する都道府県別の説明会を始めました。

収入保険の導入等を内容とする「農業災害補償法の一部を改正する法律」が昨年6月の通常国会で成立し、新たに「農業保険法」となった政省令の内容を周知することを目的として開かれており、本県では12月5日に、サンドーム小ホールで開催されました。農業者約200名が集まり、農林水産省の担当者から収入保険の制度概要について説明を受けました。



収入保険の普及推進に向け 関係機関推進体制構築会議

組合では、収入保険を円滑に導入するため、関係機関を参集した「収入保険制度普及・推進事業の推進体制構築に係る打ち合わせ会議」を10月24日に開催しました。

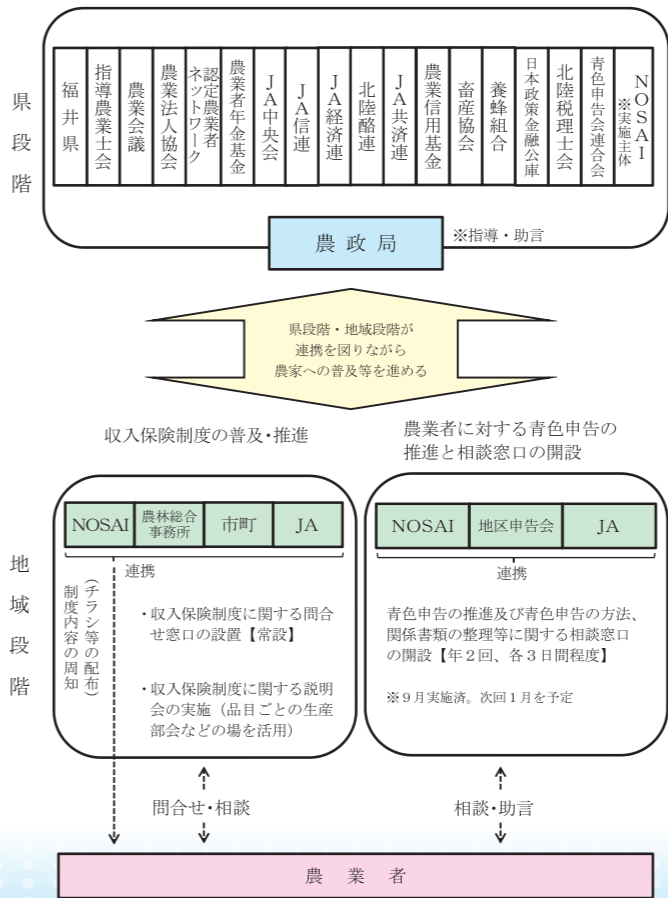
この会議では、北陸農政局福井支局をはじめ県などの構成機関で推進体制を構築し、収入保険の普及・推進や、青色申告に関する相談窓口開設の取り組みについての方針などについての協議が行われました。

同局の田中直幸地方参事官からは、「収入保険を幅広く周知することが大切。推進体制を構築し、普及推進に取り組んでほしい」との協力依頼がありました。



普及を呼びかけた
田中地方参事官

【収入保険の普及・推進事業の実施体制】



収入保険制度の解説



収入保険スタートに向け 法整備完了

収入保険制度が盛り込まれた「農業保険法」の政省令が11月に公布され、今年4月から施行に向けて必要な関係法令が全て整備されました。

ほなみ第50号（2017年4月）で収入保険や農業共済制度の見直しの概要をお知らせしましたが、改めて決定した仕組みの内容等を紹介します。

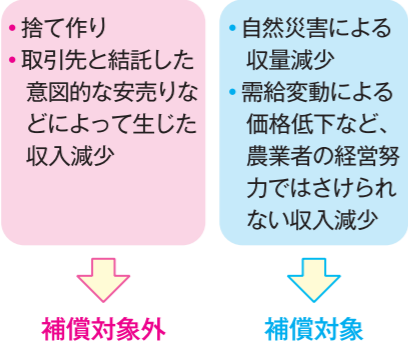
幅広い補填内容

収入保険は、品目の枠にとらわれず、自然災害による収入減少だけでなく、価格低下なども含めた収入減少を補填する保険で、次の場合も対象になります。

- 専従者や雇用者が怪我や病気で収穫作業ができないことによる収入減少
- 収穫後の米などが、保管中に火災や水害に遭い、売り物にならないことによる収入減少

- 農業者が自ら生産した農産物を加工し販売したが、上手く売れなかったことによる収入減少
- 輸出した際の為替変動による収入減少
- 販売先が倒産したことによる収入減少

収入減少の要因(例)



収入保険と選択加入になる 類似制度について

収入保険と重複加入できない制度は、農業共済、ナラン対策（収入減少影響緩和対策）、野菜価格安定制度、加工原料乳生産者経営安定対策、いぐさ・畳表農家経営所得安定対策の5つです。

【収入減少を補填する機能を有する類似制度】

制度名	対象品目	対象者	補填内容	収入保険への加入	
農業共済	農作物共済	水稲、麦	対象品目の耕作・栽培を行う者	災害による収量減少を補填	左記の農業共済制度などの重複加入はできない
	畑作物共済	大豆、そば			
	果樹共済	なし、かき、うめ	対象家畜の養畜業務を行う者	家畜の死亡・廃用を補填	
	家畜共済	牛、豚			
ナラン対策（収入減少影響緩和対策）	米、麦、大豆	認定農業者 集落営農 認定新規就農者	収入減少を補填	収入保険には加入できない	
野菜価格安定制度	野菜	野菜の計画的な生産・出荷に取り組む者（指定産地等）	価格下落を補填		
いぐさ・畳表農家経営所得安定化対策	畳表	いぐさ・畳表の生産・販売を行う者	価格下落を補填		
加工原料乳生産者経営安定対策	加工原料乳	加工原料乳の生産・販売を行う者	価格下落を補填		
肉用牛肥育経営安定特別対策事業	肥育牛	肥育牛の生産・販売を行う者	販売価格と生産コストの差を補填		
養豚経営安定対策事業	肉豚	肉豚の生産・販売を行う者	販売価格と生産コストの差を補填		
肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛繁殖経営支援事業	肉用子牛	肉用子牛の生産・販売を行う者	販売価格と生産コストの差を補填		
鶏卵生産者経営安定対策	鶏卵	鶏卵の生産・販売を行う者	販売価格とコスト増加等を補填		

※農業共済のうち固定資産の損失を補填するもの（家畜共済（搾乳牛・繁殖雌牛等）、園芸施設共済（施設内農作物以外））、及び診療費を補填するもの（家畜共済（病傷共済））は、収入減少を補填するものではなく、収入保険と機能が重複しないため、本表には含めていません。

農業者の方は、自らの経営実態に応じて、いずれかの制度を選択して加入することになります。

畜産物のうち「肥育牛」、「肉用子牛」、「肉豚」、「鶏卵」については、販売価格の収入減少だけでなく、生産コスト増も補填する畜産経営安定対策が措置されているため、収入保険の対象品目から除外されています。ただ、これらの4品目と米や野菜など他の品目との複合経営の場合は、農産物全体の販売収入から

この畜産物の販売収入を除くことで収入保険に加入できます。

収入保険と同時加入 できる農業共済は

固定資産の損失を補填する家畜共済（搾乳牛、繁殖用牛）、園芸施設共済（施設内農作物以外）及び診療費を補填する家畜共済の病傷共済は、収入減少を補填するものではないので、収入保険と同時に加入できません。

補償限度額及び支払率

収入保険は、青色申告の実施が加入要件です。適切な基準収入を把握するため、5年間継続していることが基本となります。青色申告に基づく過去5年間の平均収入

(5中5)を算出し、耕作面積を拡大・縮小する場合などは、客観的な算定ルールを用いてそれぞれ上方・下方修正して基準収入を設定します。
また、基準収入の9割(補償限度額)を下回った場合に、下回った

た額の9割(支払率)について、保険方式と積立方式の組み合わせで補填します。
①保険方式の補償限度額は、基準収入の80%(5年以上の申告実績有)を上限に、70%、60%、50%から選択できます。

全国一律の掛金率

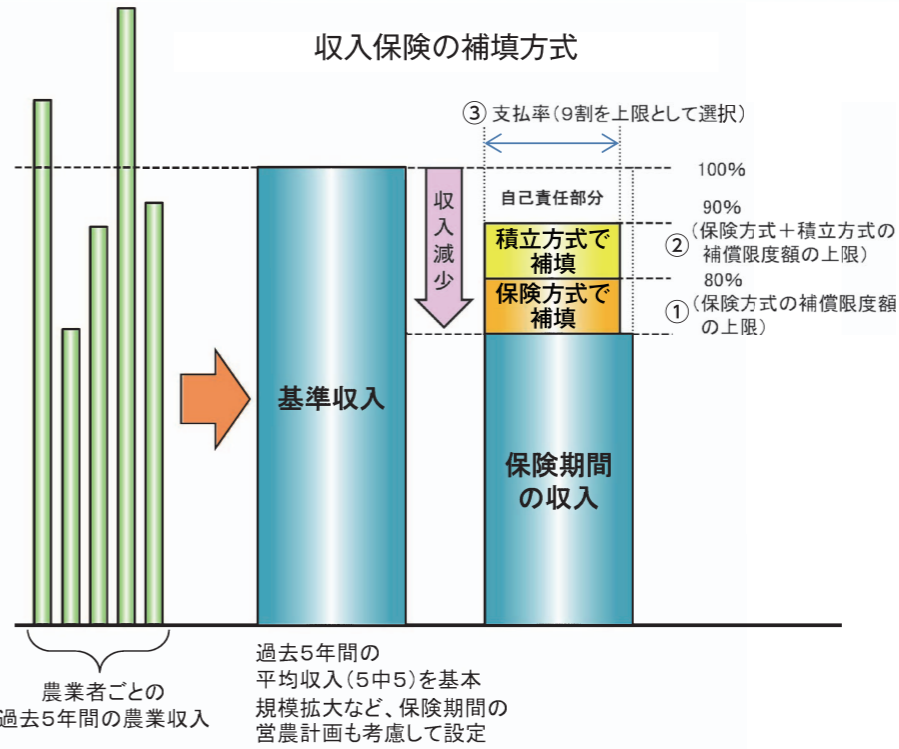
①～③は、農業者が保険料負担を勘案して補償内容を選択できるようにしています。

保険方式の保険料は50%、積立方式の積立金は75%を国が負担することとなり、保険料と積立金は農業者の農業経営全体に着目し収入減少を補填することから、全国一律で設定します。

また、保険料率は、保険金の受け取りが少ない方は段階的に引き下げ、受け取りが多い方は引き上げる「危険段階別」を設定し、公平性を確保します。

無利子のつなぎ融資で安心

保険金の支払時期は、確定申告後(個人は翌年3月～6月)となることから、加入者が保険金の支払いまでの間の資金繰りに万全を期すため、大きな被害に遭われた方は、無利子によるつなぎ融資の利用ができます。



(注) 5年以上の青色申告実績がある者の場合

表 1

青色申告期間 (加入年の1年を 加えた実績)	保険方式の 補償限度の上限及び 選択幅	積立方式の 補償幅	支払率
2年	70% 60% 50%	10% 5%	90% 80% 70% 60% 50%
3年	75% 70% 60% 50%		
4年	78% 70% 60% 50%		
5年	80% 70% 60% 50%		

また、青色申告の実績が加入申請時に1年分あれば加入できる仕組みとなっています。5年分を充たさない場合は、表1のとおり上限や選択幅が異なります。

②積立方式の補償額は、基準収入の10%から5%の2択となります。③支払率は、90%を上限に、80%、70%、60%、50%の5択となります。保険方式と積立方式で別々の支払率を選択できますが、積立方式の支払率は、保険方式の支払率以下の場合から選択しなければなりません。

シミュレーションで経営実態に沿った制度選択

農業者の皆さんが、ご自身の収入金額などを入力すれば、収入保険や農業共済制度及び類似制度との、保険金や補填金などを試算・比較できる簡易版のシミュレーション(Excel版)が作成されました。NOSAI福井のホームページからシミュレーションをダウンロードできます。ご活用ください。

シミュレーションは①～③の3つのパターンで行えます。
<http://www.nosai-fukui.jp/>

① 簡易なシミュレーション

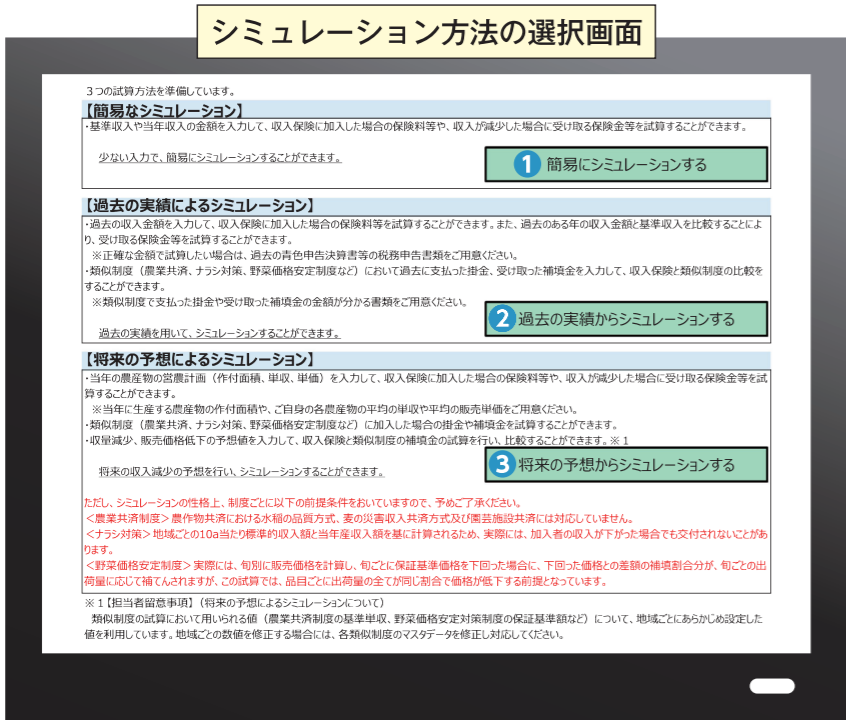
当年の収入などの項目を入力し、収入保険のみ保険料・保険金等を算出する方法

② 過去の実績によるシミュレーション

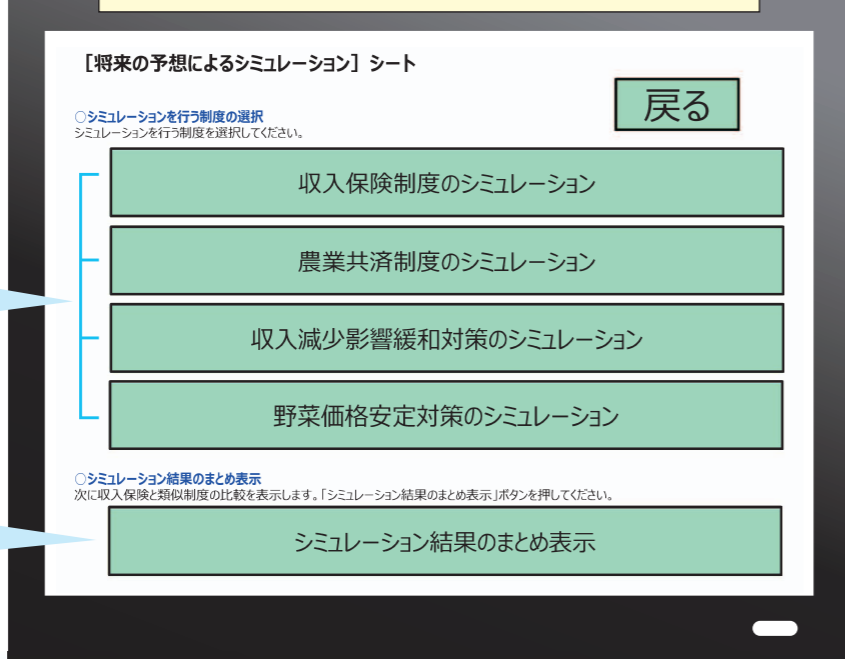
過去の収入金額や類似制度の補填金などの実績を入力して、収入保険と類似制度を比較する方法

③ 将来の予測によるシミュレーション

当年の営農計画に基づき、作付面積や単収などを入力して収入保険と類似制度を比較する方法



③ 将来の予測によるシミュレーションの選択画面

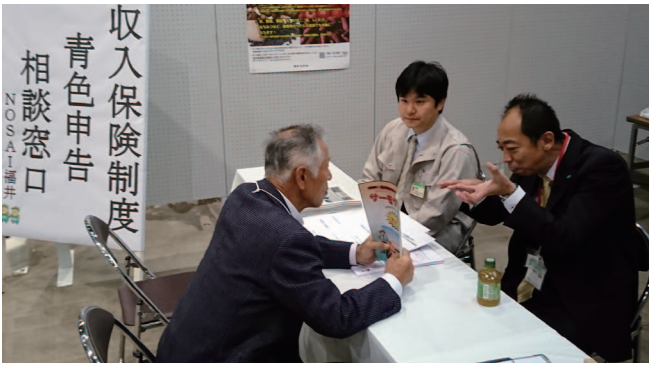


制度ごとの、掛金・補填金などの試算結果が出ます。

収入保険と類似制度の掛金・補填金などの比較が出ます。

お問い合わせ窓口を設置

組合では、農業者や関係機関からの収入保険に関するお問い合わせについて対応するため、「収入保険制度に関するお問い合わせ窓口」を設置しました。
また、青色申告を始めようと考えている農業者を対象に、青色申告の概要や税制上のメリット、手続きなどを説明する相談窓口も開設中です。



開設中の相談窓口

相談窓口でご質問をいただいた中から、主なものを紹介します。

Q JAに米を出荷すると出荷奨励金がでるが、奨励金は収入保険の対象収入となるのか。

A 収入保険の対象収入は、自ら生産した農産物の販売収入を対象としています。出荷奨励金や補助金は、原則含まないこととしています。販売収入と一体的に取り扱われている「畑作物の直接支払交付金」は対象収入に含まれません。

Q 対象収入となる大豆やソバの数量払いの交付金は、農産物を収穫した年の翌年に支払われる場合はどうなるのか。

A 収穫年の翌年に支払われた数量払いの交付金は税制度上、翌年の収入金額として計上することになっています。そのため、収入保険でも翌年の農産物の販売収入に含めることとなります。

Q 作業受託料は収入保険の対象収入となるのか。

A 作業受託料は、雑収入として計上されることや、生産者と作業受託者が共に収入保険に加入した場合に、もし、圃場が被害を受けて作業受託料が支払われなかったときに、生産者だけでなく作業受託者にも保険金が二重で支払われる恐れが発生しますので対象外となります。

Q 収入保険の加入申請にはどんな提出書類が必要になるのか。

A 加入申請書のほか、当年の営農計画書や過去の収入金額申請書、過去の税務申告書の写しなどです。
保険期間中に、農作物の作付面積や種類など営農計画書の変更が生じる場合は、作付後の1ヵ月以内に営農計画書の変更申請をしていただきます。

収入保険に係る説明会及び相談窓口設置のお知らせ

平成30年10月（法人は平成31年1月以降に始まる事業年度の3ヵ月前から1ヵ月前）から収入保険の加入申請が始まります。制度に関する説明会及び青色申告に興味のある農業者を対象とした相談窓口をNOSAIの本・支所、連絡所等に開設しますので、ご利用ください。

平成30年1月14日(日)～16日(火) 午前9時から午後4時30分まで	NOSAI 福井本所	鯖江市横越町 18-41-1
平成30年1月18日(木)～19日(金) 午前9時から午後4時30分まで	NOSAI 福井若狭支所	小浜市遠敷 49-1-2
平成30年1月22日(月)～23日(火) 午前9時から午後4時30分まで	NOSAI 福井奥越連絡所	大野市明倫町 3-37
平成30年2月9日(金)～10日(土) 午前9時から午後4時30分まで	JA 福井市本店	福井市湊 4丁目 606
平成30年2月13日(火)～15日(木) 午前9時から午後4時30分まで	JA 花咲ふくい坂井支店	坂井市坂井町上新庄 28-1-5

※説明会及び相談窓口へお越しになる方は、事前にお申込みください。〈経営支援室〉 ☎ 0778-53-2701

期待しています

収入保険と制度改革

新たに始まる収入保険や農業共済制度の改正を踏まえ、農業経営や災害リスクに対する農業者の声を紹介します。

法人化を視野に

しっかりメリットを検討したい

南江守生産組合(福井市南江守)組合長 杉本 進さん(70)

圃場整備を契機に1993年に集落営農組織を立ち上げ、米を中心に大麦・大豆の転作物物の収量向上と品質確保に努めています。

「畑作物の直接支払交付金の数量払いは、より良い物を作る者にやる気を起こす良い制度です。共済制度の補償単価にも反映されており、共済制度とナラシ対策のセットで、もしもに備えています。ただ、近年獣害により被害を受けるため、欲を言うと局地的な被害にも対応があればと思います。

適正な損害評価は経験の長い耕作者による評価が望ましいですが、収穫時期と重複してしまっています。今後、AI(人工知能)などの技術が損害評価に導入されてくるでしょうが、播種から収穫までの生育過程を把握している共済職員の力が適正な損害



評価の一助につながるはずですが。我組合は定年を迎えた者がメインとなって運営しています。10年先を見据えると後継者づくりを踏まえ法人化について話し合いをしていく予定です。

そうした中、自然災害だけでなく幅広く対象とする収入保険の導入を含め、後継者が安心して取り組めるようしっかりメリットを検討していきたいと思っています。

経営規模▽水稻37^{ha}、大麦18^{ha}、大豆19^{ha}

大豆19^{ha}

NOSAIの

加入提案に期待

合同会社南牧場(勝山市平泉寺町) 南 信午さん(63)

酪農を始め38年間になりますが、息子が酪農を継ぐ決意をしてくれたので、2014年に法人化し従業員1人を雇うことで休みも取れ、体への負担は減りました。

分娩時の負担で母牛が廃用になり、乳量が減ることが一番のリスクと考えており、収入保険は乳価が補償となるのが魅力的です。一方で、申し込みに係る提出書類などはシンプルなものをお願いしたいです。また、家畜共済では、大切な乳牛の

治療費や死廃事故による個体の補償にと助かっています。制度見直しでは、死廃共済と病傷共済が分離され、別々の補償割合が選べるようになるのは大きなメリットです。

今後、継続的な経営を見通す点からも、収入保険と家畜共済のバランスを考えたいと思います。加入にあたっては共済職員からの加入提案にも期待しています。

経営規模▽成乳牛42頭、育成乳牛1頭



「県内各地で

甚大な爪痕」

台風21号…記録的大雨、暴風



冠水している大豆、ソバの圃場（あわら市） ドローンで空撮



落果したナシ（あわら市）



全損した園芸施設（福井市）



トタンが吹き飛ばされた農作業場

園芸施設共済

復旧費用上乘せで補償アップを

今回の台風被害では、附帯施設が不加入であったり、本体の補償額に上乘せの申出がなかったりと、十分な補償に届かないケースもみられました。

時価ベースの補償に加え、農業者の選択により、再建に要する費用を補償する「復旧費用」が上乘せできます。また、倒壊した施設の撤去に要する費用を補償する「撤去費用」も選択することができますので、ぜひ補償額のアップをご検討ください。

建物共済

自然災害には「総合共済」で

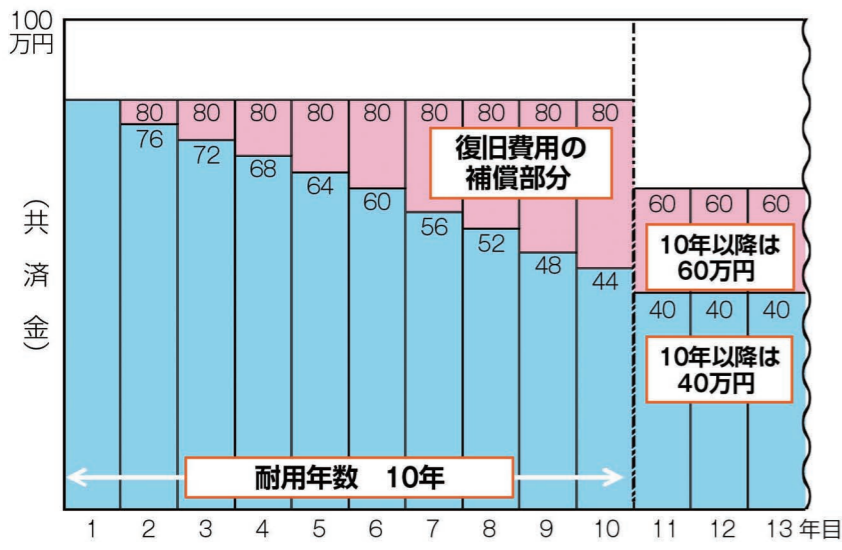
建物共済には、「火災共済」と「総合共済」の2種類があります。現在、多くの方にご加入いただいています。「火災共済」は、自然災害は対象となっておりません。台風などの自然災害に備えるためには、「総合共済」への加入をお勧めします。

「総合共済」は、火災共済の対象となる火災や落雷の事故に加えて、風水害、雪害、地震、津波などの自然災害に備えることができます。今一度、ご加入の「建物共済証券」で、共済種類・用途・共済金額等の確認をお願いいたします。

平成29年9月より、「総合共済」の補償金額の引き上げや地震の補償割合の引き上げなどの仕組み改定が行われました。補償内容を見直したい場合には、組合までご連絡いただければ、担当職員がお伺いし、契約内容の変更などの手続きをさせていただきます。

【共済金の支払イメージ】

引受時の再取得価額が100万円のパイプハウスが全損した場合



台風21号 相次ぐ農業被害

超大型の台風21号が10月22日～23日にかけて県内に最接近し、各地で大雨や暴風に見舞われました。

24時間雨量は、南越前町今庄で240.5mm、越前市武生で195.0mm、大野市で179.5mmと、それぞれ観測史上最多を記録しました。

また、最大瞬間風速は小浜市で38.8m/sと、観測史上最大となる地点もありました。

収穫を控えた大豆やソバの圃場では、冠水及び浸水被害の発生や、強風による茎折れ、落実及び倒伏が発生しました。

園芸施設では、多くのハウスでビニールの破れやパイプが曲がるなどの被害が発生しました。組合では、台風通過後、早急に損害評価を実施しました。

この度の台風21号により被害を受けられました農業者の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

現在、組合では損害評価の取りまとめ中です。早期共済金のお支払いに向けて手続きを進めております。

今回の被害の中から、皆さまからのお問い合わせが多く、今後の共済加入にあたって留意していただきたい共済事業についてご紹介します。

建物共済証券		発行年月日：平成29年11月		共済関係の成立年月日：平成29年10月	
〒916-0036 鯖江市横越町18-41-1		証券番号第29-XXXX-00001号		福井県農業共済組合	
共済 太郎様		組合長理事 千田千代和			
共済種類	用途	建物の構造	建物の延面積	共済金額(万円)	共済掛金等
01 火災	住宅	一般 瓦	2 186.45	1,000	13,870
01 総合	住宅	一般 瓦	2 186.45	3,000	80,100
02 火災	土蔵	耐火B 瓦	2 73.00	600	2,580
03 火災	車庫	一般 スレー	2 109.00	730	5,329

総合共済での加入は「総合」と、火災共済での加入は「火災」と記載されています。

地域に根ざしたNOSAIを目指し

制度PR事業の展開

組合では、地域イベントに積極的に参加しながら、組合員の皆さんと交流できる事業を実施し、地域からの情報発信・NOSAI事業のPRを行っています。



「いねす秋の収穫祭」

10月21日(土)
坂井地域交流センター
いねす

有害獣の有効活用として、イノシシ肉を使ったしし鍋を500食分準備し、来場者にふるまいました。

「越前おおの新そばまつり」

11月18日(土)~19日(日)
大野市役所駐車場

大野市産の新そばを使い、職員が打ったそばに、ダイコン汁の特製だしと油あげをトッピングしたこだわりそばが好評でした。



お立ち寄りいただいた皆さま、ありがとうございました。

お米を中心とした
生産・加工・販売および
コンサルティング。
それがアジチファーム。

地域の
セントラル
キッチン

6次化の
ショールーム

米文化の
継承、
海外展開

【事業内容】
◎生産 ◎加工 ◎販売 ◎商品開発
◎農業・6次化コンサルティング

【プロジェクト】
◎ベトナム国内での福井県産米の販売
◎日本国内での移動販売
◎ベトナム国内での米粉パンの販売
◎日本国内での米麺製造

生産・商品開発・加工・販売まで。農業の新しいカタチ。

株式会社 **アジチファーム**

〒910-0052 福井市黒丸町10-16-1
TEL.0776-29-7686 FAX.0776-29-7687
mail komepan@mx4.fctv.ne.jp
URL www.ajichi.jp (ほやほや 検索)

株式会社 **鮎街道ファーム**

〒910-1206 吉田郡永平寺町栃原52-3-1 TEL.0776-63-3110

株式会社 **スゴイファーム**

〒910-3386 福井市南管生町第22号3番地1



ほなみ女性の会 活動だより



「6次産業化を目指し、地域農業の活性化につなげたい」という会員たちの要望から、今年度の県外研修は、地元の女性や高齢者を積極的に雇用し、農業・商業・観光・文化活動が連携した一休型施設「ちこり村」を経営する株式会社サラダコスモ(岐阜県中津川市)を視察しました。

卓県と長野県で16ha作付けしています。

同社では、西洋野菜である「ちこり」の国産化に平成18年から挑戦し、荒れた休耕農地を活用し岐

「ちこり」とは、ヨーロッパ原産のキク科の野菜で、日本でいうキャベツやレタスの様に親しまれています。しゃきしゃきとした食感とほのかな苦みが特徴で、100gあたり16キロカロリーとヘルシーです。また、栄養価はイヌリン、カルシウム、ビタミンB、ビタミンCが含まれています。

同社は、ちこりの生産だけでなく、加工も手掛け、焼酎・お茶・コー

ヒー・漬け物・クッキーと幅広く商品開発したほか、農家レストラン「バーバースダイニング」で直接ちこりを食すこともできます。

同レストランのスタッフ(24名)は、元々直売所へ野菜を卸していた主婦たちの集まりで、自ら作った野菜を「安心して食べられる地元食材の提供」をモットーに取り組んでいます。

メニューは150種類と多彩で、特に、ちこりは生でサラダにするほか、てんぷら、グラタンなど様々

な食感が味わえるうえ、見た目の良さ、優しい味付けにも工夫がされており、日本で一番野菜が食べられるビュッフェスタイルのレストランの自負がうかがえました。

当初は1日5名であった来客が、現在では年間30万人となり大盛況だそうです。視察当日は悪天候にもかかわらず、たくさんのお客さんでにぎわっていました。

10年がかりでちこりを町おこしの材料とし、6次産業化に取り組むだけでなく、現代農業の課題となっている高齢者雇用、農地の活用を解決している元気な取り組みを学びました。

「ちこり」から出荷用のちこり芋までの栽培過程

6月頃：畑で種を撒く
11月頃：ちこり芋を収穫（上部葉の部分は切り落とす）
※ 11月から12月中に霜が降る地域は芋に糖度が増す
1年分の種芋をまとめて栽培し、これらを冷凍保存

暗室に8日間いれておくとしちこり芋から食用葉を付ける

この葉は水耕栽培して21日程度で出荷用の食用葉になり、芋から切り離され出荷される



収穫したちこりの葉を落とす



暗室で水耕栽培



芋部分を加工しコーヒーなどへ



葉の部分をサラダなどに



150種類のメニューが並ぶバーバースダイニング



書写全国コンクール「力作ズラリ」

「農業災害補償制度70周年記念・書写全国コンクール」に係る福井県審査会を9月14日に開催。県内からは705点の応募があり、審査委員の腰田稲波氏（福井県書作家協会顧問）、青木佳雪氏（同協会推薦参事）、加藤祥雪氏（同協会評議員）、千田千代和組合長（福井県農業共済組合）による厳正な審査の結果、優秀作品6点、福井県農業共済組合長賞6点を決定しました。

優秀作品は、更に10月19日の中央審査委員会で審査され、全国20546点の中から、本県より農林水産省経営局長賞ほか5点が入賞しました。入賞者と喜びの声を紹介します。



審査会場にいっぱい並ぶ力作705点

中三 **自然の恵み**
荒谷友香



あらたに ゆうか
荒谷 友香さん
福井県立高志中学校2年

うれしくて、表彰式で賞を授与されている自分を夢で見ました。力強い字を活かすため、分間や全体のバランスに気を付けました。書道には終わりがないですが、集中力を養うことができます。これからも、先生の指導を素直に受け入れ、多くの技法にチャレンジしていきたいです。

小三 **実り**
小玉こう大



こだま こうた
小玉 倅大さん
坂井市立春江小学校3年

優秀賞をいただけただけで本当によろしいです。結果を気にしながら待っていたかがありました。実りは、お母さんの名前の一字でもあり、4、5、6画目の間隔や太さのバランスが難しく、何百枚も練習しました。最後の書き終えた瞬間、大きな達成感がありました。習字を書いていると集中力が高まるので、これからも続けていきたいです。

小四 **実り**
坪田ここみ



つぼた ここみ
坪田 瑚々美さん
坂井市立鳴鹿小学校4年

入賞でき本当によろしいです。筆で書くことがかっこよくて書道を始めました。書道はバランスをとることがむずかしいです。日頃はとめ、はらいという基本をしっかりすること、ゆっくり書くことに注意しながら練習しています。今回の作品では、特に「実」の右はらいに一番気を使いました。書道は心が落ち着き、すっきりします。今後もずっと続けていきたいです。

小六 **豊年満作**
柳本量子



やぎもと りょうこ
柳本 量子さん
福井市立麻生津小学校6年

好きな書道で賞をいただけ嬉しです。鉛筆と違い筆圧により線に強弱を付けられ、より字がきれいに書けることが好きです。「豊」の字は画数が多く、スペース内にバランス良く書くことに気を付けてきました。中途半端なことは嫌いで自分が納得するまで書き続け、楷書だけでなく行書にもチャレンジしたいです。

小六 **豊年満作**
北島美羽



きたじま みはね
北島 美羽さん
越前町立萩野小学校6年

難しい課題でしたが賞をいただけ、頑張ったかがあります。上段の「豊・満」は、画数が多いのに対して、下段は画数が少ないため、線の太さのバランスに気を付けました。妹も書道を習っていますが負けないよう、また、両親が付けてくれた名前にも負けないような美しい字を書けるようこれからも続けていきます。

3部 (中学生)
全国農業共済協会長賞

優秀賞

中三 **自然の恵み**
宮崎美優

みやざき みゆ
宮崎 美優さん
福井市立明道中学校3年

すばらしい賞をいただけ嬉しです。熱心にご指導くださった先生に感謝しています。今回の作品に気を付けたことは漢字と平仮名の強弱や勢い、全体のまとまりに気をつけました。今後、もっと上達できるように高校へ進学しても努力し続けていきたいです。

1部
杉本詩奈さん
福井市立六条小4年

優秀賞

村上りなさん
福井市立社北小4年

2部
酒井明日花さん
永平寺町立吉野小6年

優秀賞

矢代万智さん
福井市立中藤小6年

3部
新田美月さん
あわら市立金津中2年

優秀賞

高溝唯加さん
福井市立明倫中3年



一点一点を丁寧に審査

農業新技術紹介



農作物等に被害をもたらす有害獣への対策として、侵入防止柵として電気柵が普及しています。しかし、電気柵の仕組みを理解せず、適正な活用を怠ると本来の効果を出すことはできません。

そこで今回は、電気柵の効果を高め、防草シートとしても使用できる電気柵専用防草シートを紹介いたします。

マイナス(アース)機能付き電気柵専用防草シート

電気柵製造の株式会社末松電子製作所(熊本県)と、緑化資材を企画・販売する株式会社白崎コーポレーション(鯖江市)は、共同で電気柵専用の防草シート「マイナスシート」を開発し昨年6月から発売をしています。

「電気柵の仕組みを理解しながら使用している方が少なく、ポイントはマイナスの電圧を高く安定させること」と話すのは同製作所北陸営業所・服部義和所長。

電気柵による電気の流れは、電源装置から電線をプラスとし、アース棒を埋め込むことで地面をマイナスにして、有害獣が電線に触れると電気が獣の体を通って地面に流れ、電源装置のアース部に流れることで、有害獣に電気ショックを与えることができます。

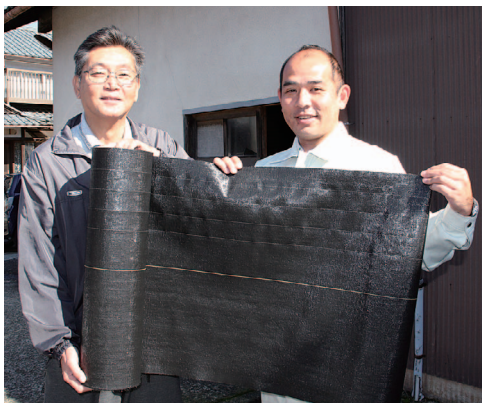
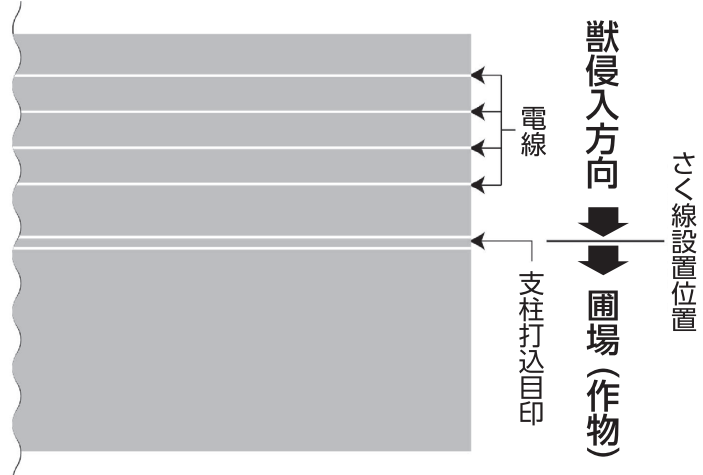
電気柵の設置には、道路ぎわのアスファルト・コンクリート・砂利上といった、マイナスを取りにくい場所にも設置しなければならず、この問題を解決するため開発されたのが防草シートに電線を織り込んだ「マイナスシート」。

同シートは、獣侵入方面の半分に電線が織り込んであり、圃場(作物)側の半分には織り込みがありません。有害獣の足がシートの電線を踏むことで、従来の防草シートと比較してより強い電圧を維持でき、より強い電気ショックを与えることができるということです。

更に、防草シートなので雑草を抑えることができ、雑草が電線に触れることによる漏電や、草刈り作業に伴う電線の切断を防ぐことも可能です。

「電線を織り込むことで、価格は上がったが、電気柵の仕組みを知っている方からは好評。紫外線対策もしてあり耐久性にも優れているので是非使用してほしい」と同コーポレーションの技術開発部・山本泰久部長は話しています。

マイナスシートの構造図



マイナスシートを手に服部所長⑤、山本部長⑥
シート上半分に電線が織り込まれている



マイナスシートを畦畔に敷き、電気柵を設置



暮らしのワンポイント

「もう他人ごとではない

オレオレ詐欺などに注意！」



県内における特殊詐欺による被害は平成26年から2億円を超え、平成29年10月末で既に認知数68件、約2億3千万円と急増しています。そこで今回は、福井県警察本部生活安全企画課の山本泰弘対策官に、特殊詐欺の傾向や被害に遭わないための対策などについてお聞きしました。

特殊詐欺とは（種類は）

特殊詐欺とは、「不特定多数の人をターゲットにし、電話や郵便などを使って対面することなく現金を騙しとる」犯罪をいいます。

詐欺の手法は、「オレオレ詐欺」のほか、「架空請求詐欺」、「還付金等」など7種類以上に及びます。

県内の被害状況

10年前以上から特殊詐欺が発生し、平成26年は過去最悪の約

2億8500万円となりました。被害者の6〜7割が65歳以上の高齢者となり、特に昼間に在宅される機会の多い女性が騙される率が高くなっています。

一方、昨年は30〜40代の若い方でも、多くの方が「架空請求詐欺」の被害に遭っています。

主な特殊詐欺の手法

「オレオレ詐欺」 親族、警察官、弁護士等をかたって電話をかけ、仕事上のお金のミスやトラブル、借金の返済等を装い、現金を騙し取る手法。

総合消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ

この度、ご通知致しましたのは、貴方の利用されていた契約会社、ないしは運営会社側から契約不履行による民事訴訟として、訴状が提出された事をご通知致します。管理番号(わ)322 裁判取り下げ最終期日を経て訴訟を開始させていただきます。尚、ご連絡なき場合、原告側の主張が全面的に受理され、執行官立ち合いの元、給料差し押さえ及び、不動産の差し押さえを強制的に履行させていただきますので裁判所執行官による執行証書の交付を承諾していただくようお願い致します。

裁判取り下げなどのご相談に關しましては当局にて受け付けておりますので、職員までお問合せ下さい。

尚、書面での通達となりますのでプライバシー保護の為、ご本人様からご連絡いただけますようお願い申し上げます。

※取り下げ最終期日 平成29年9月22日

法務省管轄支局 民事訴訟管理センター
東京都千代田区霞が関
取り下げ等のお問合せ窓口
受付時間 9:00~20:00(日、祝日除く)

実際に送付された架空請求のハガキ

「架空請求詐欺」 インターネット

の有料サイトの利用料として、メールや郵便等を利用して架空の事実を口実として料金を請求して、現金や電子マネーを騙し取る手法。

「還付金詐欺」 市役所等の職員を名乗る犯人から電話が入り、医療費や税金の還付手続きを装って、被害者にATMの操作方法を指示し、犯人の口座に現金を振り込ませる手法。

被害に遭わないためには

特殊詐欺を他人ごとだと思ってしまう方が多いですが、もしかしたら明日、犯人からの電話がかかってくるかもしれません。犯人たちは言葉巧みな話術で、被害者を不安にさせます。一人では絶対に対応せず、身に覚えのないことは必ず誰かに相談してみましょう。

県警としても、大きく分けて3つの対策に取り組んでいます。

① 注意喚起（情報発信）

あらゆるメディアを使って注意喚起していますが、それらに関心ないと思わず、最新の手法などに関心を持ってください。高齢者宅へ直接訪問による注意喚起も行っています。

② 水ぎわ対策

金融機関やコンビニ

二などの協力を得て、高額な現金の引き出しや高額な電子マネーカードの購入の際への声かけをお願いしており、平成28年は92件を未然に防いでいただいています。

③ 電話防犯機器の普及

防犯機器を設置することで、電話を受ける前に「この電話は会話を録音しています」などと電話の相手に警告をしてくれます。犯人は自分の声が録音されるのを嫌がるので、電話を切る可能性が高まります。最近発売している家庭用の電話機には、そういった機能も付いています。

特殊詐欺の被害に遭わないためには、家族の中で注意喚起することが一番の対策で、親子が離れて暮らしている場合は特に気をつけてください。普段からの会話を増やすことで未然に詐欺を防げ、家族の絆も深まります。

不安に思ったり、不明な点があれば、遠慮せずに最寄りの警察や消費者センターに相談してください。



後付けの防犯機器を手に「非常に効果が期待できます」と話す山本対策官

営農に役立つ 情報が満載

農業共済新聞は、共済事業や農政など、農業経営にとって有用な情報が満載です。

〈発行回数〉月4回・毎週水曜日

〈購読料〉年額4,680円



〈お問い合わせ〉

NOSAI 福井本所 企画広報グループ
TEL 0778-53-2701

実践事例でわかる

獣害対策の新提案

—地域の力で農作物を守る—

農業災害補償制度 70周年を記念して、記念図書「実践事例でわかる獣害対策の新提案」が、家の光協会から発売されました。

全国の先進的な獣害対策の実践事例に加え、獣害の現状や対策の基本事項、政府による支援策などの概要が一冊となっています。



定価：1,944円(税込)
A5判・並製・160頁

〈お問い合わせ〉

NOSAI 福井本所 企画広報グループ
TEL 0778-53-2701

「ほなみ」ご意見箱

みなさまから投稿いただいた葉書の中から、一部ご紹介し
ます。ご感想いただきありがとうございました。

「いちほまれ」の新米を試食したが、記載のとおりもちもちした食感です。福井県の特産品米となることを期待したいです。

(おおい町 男性 60代)

表紙の田んぼアート、何て素晴らしいのでしょう。いちほまれは高いものの、1度は食してみたいものです。我家は、コシヒカリ、華えちぜんですが、子どもがご飯好きで、田植え稲刈りと、気持ちよく手伝ってくれるので、つらくても皆でやるとそうでもなく、笑顔でいられます。

(あわら市 女性 60代)

女性パワーの獣害防止対策は素晴らしいことです。どこの地域でも女性の活躍が期待されています。

(美浜町 男性 70代)

我家では、地区の「生産組合」で米作りをしていますが、現組合員が高齢者で、後継者不足でもあり、後々のことが不安です。

(坂井市 女性)

表紙の「田んぼアート」のすばらしい風景に感動！完成までの大変な努力と知恵の結集で見事な出来栄です。今まで疑問に思っていた色分け方が解り、スッキリしました。

(鯖江市 女性 60代)

■ 広報紙「ほなみ」ご意見箱 ■

広報紙「ほなみ」に対するご意見・ご感想をお聞かせください。その他にも、身近な話題や農業について、日ごろ思うことなどがありましたら、ご記入ください。ご意見等は、紙面上に掲載することがあります。(投稿者の性別、市町名まで記載させていただきますので、ご了承ください。氏名の記載はいたしません。)

次ページの葉書に記入いただき、**1月31日(水)までに投函**ください。抽選で10名様に粗品をプレゼントします。



編集後記

パソコンの普及により、年賀状の手書きが減り、プリント印刷が多くなっているのではないのでしょうか。手書きの文字には、何の気なしに書いても書き手の個性が入るものです。

書道には書初めやどんど焼（左義長）で書初めを燃やすといった風習があり、その炎が高く上がる文字が上達するといわれています。また、書道は子どもに習わせると良いとされる習い事の中で3本の指に入るそうです。

今回の書写コンクールは力作ぞろ

表紙紹介「初春に思いを込めて」

16ページでご紹介した「書写全国コンクール」において、農林水産省経営局長賞に輝いた荒谷友香さん。

筆使いが豪快で、荒谷さんの持つ力強さが伝わってきました。

新年の目標は「文武両道」だそうです。これからもますます羽ばたく姿が見られそうです。



いで、小・中学生が持つパワーと課題の意味を踏まえた豊かで広がりのある作品に驚きました。私も小学6年生まで書道を習っていました。が、書の技術だけでなく、礼儀など多くのことを学ぶことができました。

さて、今年の4月から「農業保険法」が施行され、NOSAーでは農業共済事業だけでなく、収入保険も担うこととなります。収入保険の掛金や補填金などの試算と類似制度との比較ができるという便利なシミュレーションソフトも開発されました。私たち職員も業者の方が適切に経営判断ができるように、丁寧な説明に努めていきます。

(河端)

郵便はがき

916-8790

鯖江市横越町18-41-1

福井県農業共済組合

広報紙「ほなみ」で意見箱係行



きりとり線

料金受取人払郵便

鯖江郵便局
承認

2914

差出有効期限
平成31年3月
31日まで

住所 〒	電話 () -
氏名	年齢 歳 (男・女)

今後の予定

1月

- 共済連絡員会議
(中旬～2月中旬まで)
- 収入保険に係る説明会及び相談窓口
設置

3月

- 大豆・そば共済金支払い



総代選挙のお知らせ

今期総代の任期が満了となりますので、総代選挙が行われます。

- 選挙の公告 平成30年2月下旬
- 選挙日 平成30年3月中旬
- 総代定数 209名
- 任期 3年間
(平成30年4月1日～平成33年3月31日)

盆栽に魅了されて

鯖江市 五十嵐 英郎さん



「これは何年前に、どここの山で採ってきた木です」と一鉢一鉢の盆栽の思い出を話すのは、鯖江市西袋町の五十嵐英郎さん(78)。一鉢ずつ愛着があるため、なかなか処分することができず、盆栽は200鉢にも及ぶ。

五十嵐さんは、自然に恵まれた河和田地区に生まれ育ったこともあり、小さな鉢の上であたかも自然に生えていたかのように木を見せる盆栽に魅了され、20代後半から収集を開始した。

「盆栽には決まり事がない。



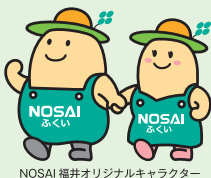
自分が好きなように育てればいい」と話す五十嵐さんは、盆栽については独学だが、河和田盆栽会にも属しており、仲間がいることでお互いの知識が共有できるという。一日で変化が起こるわけでもないが、毎朝必ず盆栽を観賞するという五十嵐さんは、「盆栽に接することで心が安らぐ。観賞も好きだが、やはり世話をするのが楽しみなのかも」と笑顔で話す。

発行所



安心のネットワーク

NOSAI



NOSAI 福井オリジナルキャラクター

福井県農業共済組合

本 所 ☎ 0120-83-2701

〒916-0036 鯖江市横越町18-41-1

TEL (0778) 53-2701(代)

FAX (0778) 53-2705

福井グループ TEL (0778) 53-2702

奥越グループ TEL (0778) 53-2703

鯖丹グループ TEL (0778) 53-2704

南越グループ TEL (0778) 53-2708

坂井・あわらグループ TEL (0778) 53-2712

家畜診療所 TEL (0778) 53-2719

若狭支所 ☎ 0120-56-5312

〒917-0241 小浜市遠敷49-1-2

TEL (0770) 56-5300(代)

FAX (0770) 56-5306

奥越連絡所

〒912-0083 大野市明倫3-37

TEL (0779) 64-4020

坂井連絡所

〒919-0526 坂井市坂井町上兵庫40-15

TEL (0776) 72-0078

FAX (0776) 72-0085

ホームページアドレス <http://www.nosai-fukui.jp/>

広報紙「ほなみ」 ご意見箱

広報紙「ほなみ」や組合に対する、ご意見・ご感想をご記入下さい

身近な話題や農業について日頃考えていることなどをお寄せください

きりとり線